

会		議		記		録	
会議の名称		予算特別委員会				会議場所 全員協議会室	
						担当職員 阿久根由美子	
日時	平成25年3月18日(月曜日)			開議	午後 1 時 0 0 分		
				閉議	午後 4 時 5 1 分		
出席委員	菱田 齊藤 山本 井上 福井 田中 吉田 立花 日高 西村 明田 西口 湊 <木曾議長 竹田副議長>						
執行機関出席者	<あいさつ> 栗山市長、湯浅副市長、勝見副市長、竹岡教育長、坂井病院事業管理者、山内政策推進室長、竹井企画管理部長、門生涯学習部長、岸総務部長、田川会計管理室長、森環境市民部長、武田健康福祉部長、船越産業観光部長、西崎上下水道部長、野中管理部長、辻田教育部長、西田環境市民部理事、古林まちづくり推進部理事、山田産業観光部理事、木村財政課長、西田総務課長、 <議会事務局> 今西局長、藤村次長 <政策推進室> 山内室長、竹村政策推進課長、田中安全安心まちづくり課長、柏尾政策推進課副課長 <会計管理室> 田川室長、人見会計課長、荻野会計課副課長 <企画管理部> 竹井部長、俣野夢ビジョン推進課長、内田秘書広報課長、中川人事課長、木曾契約検査課長、浦夢ビジョン推進課副課長、山内秘書広報課副課長、片山人事課副課長、畑契約検査課副課長						
事務局出席者	今西局長 藤村次長 山崎係長		阿久根係長		三宅主任		
傍聴	市民 1名		報道関係者 0名				
	議員 3名(酒井、中村、眞継)						
	執行機関 2名(山内財政課副課長、鎌江財政課主任)						

会 議 の 概 要

1 開議

13:00

〔菱田委員長 あいさつ〕

〔木曾議長 あいさつ〕

〔事務局長 日程説明〕

〔理事者 入室〕

13:05

2 議案審査

<栗山市長>

平成25年予算は施設方針演説、予算編成方針、提案理由説明で述べたとおり、第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～の着実な前進と3期目のマニフェスト実現の確かな歩みを市民に実感してもらうための予算を編成した。

学校施設の耐震化事業はじめ、安全安心のまちづくりのためのセーフコミュニティの取り組み、こども医療費充実による子育て支援事業、大規模スポーツ関連事業JR千代川駅東広場整備事業などを計上。

財源は今日の雇用情勢、地域経済をみると厳しい状況が続き市税収入も期待できない状況であるが、「入りを図りて出づるを制す」を基本に、地方交付税臨

時財政対策債等の一般財源を確保、財政調整基金、減債基金の有効活用を行い、全力で取り組む。
次への飛躍見据えた諸施策に果敢に挑戦し、混迷する事態と乗り越える力強い亀岡、未来に輝く亀岡を推し進めたい。

< 菱田委員長 >

これから各部の説明を求める。簡潔な説明、答弁を願う。

[理事者 退室]

13 : 10

< 菱田委員長 >

申合せを2点行う。

- ・ 審査範囲外の質疑は、委員長において注意、中止する。
- ・ 質問は1回3項目、回数制限はしない。

[議会事務局 説明席に移動]

< 議会事務局長 >

(予算編成方針) 本市議会は市民福祉の向上のための議会基本条例に基づき活動をしている。H25年度も活動を支える予算を編成。

(重点事項) 市民により議会を見ていただくため決算、予算特別委員会のインターネット中継録画配信、議会報告会の回数増による実施である。

[議会事務局 説明]

13 : 12

[質疑]

< 福井委員 >

委員会中継は、大規模スポーツ施設の調査等に関わることも技術的にできるものか。

< 事務局次長 >

技術的にはできるが予算では見込んでいない。

< 立花委員 >

議会だよりは前年より増額している。同じ内容と聞いていたがどうか。

最近は公衆無線が使える公共施設が多いがどうか。

< 事務局次長 >

定例会分は@13.6円×31,600部×1.05(消費税)×4回=1,804,992円

臨時会分は@5.73円×31,600部×1.05(消費税)×1回=190,121円でい

ずれも部数による増加。

< 事務局長 >

庁舎全体の問題。今はネットは見れて当然、議会でも議論されればと思う。

< 吉田委員 >

議長用公用車運転業務の要求額は。

< 事務局次長 >

外部委託料で、@2,680円×130日×4時間=1,393,600円。

< 西口委員 >

議員1人当たりの歳費はいくらか。委員会視察分も含め、資料提出願う。

< 事務局次長 >

期末手当が下がっている。資料を提出する。

〔議会事務局 事務局席に移動〕

13:31

〔政策推進室 入室〕

<政策推進室長>

(予算編成方針)政策推進室は重要施策を速やかに推進するために設置された。安全安心まちづくりの取り組み、大規模スポーツ施設、カーボンマイナスプロジェクト、公共交通、犯罪被害者救済、のどかめロード管理を行う。

(重点事項)

(仮)南つつじヶ丘コミュニティセンター整備

セーフコミュニティの質の向上と拡大

JR千代川駅周辺整備

公共交通ネットワークの実現に向けた調査

大規模スポーツ施設関連事業

である。

〔政策推進室 説明〕

13:55

〔質疑〕

<日高委員>

地域公共交通調査委員会の構成は。

公共交通アンケート調査は委託なのか、その内容は。

<政策推進課長>

現設置の地域公共交通会議は京阪京都交通、商工会議所、自治会連合会6名、老人クラブ、身体障害者協会、市民、警察署、府土木事務所など16名で組織している。それをベースに、自治連合会、利用者等の構成を考えていきたい。

専門的なコンサルタントに業務委託する。アンケート調査は7月から現況交通調査、9月頃に実施、10月に課題整理、事例調査も行い1月にパブリックコメント募集の予定。

<日高委員>

H25年度の1年をかけてアンケート調査をするのか。調査後の実施(改正)は平成26年10月ごろか。

<政策推進課長>

早期にしたいとは考えている。

<井上委員>

南つつじヶ丘コミュニティセンターに関して、保育所・幼稚園用地は売却するのか。用途の指定はするのか。

<政策推進課長>

幼稚園、保育園用地ともに売却する。明日入札を行う。住宅開発の条件を付けている。

<山本委員>

防犯カメラ設置場所5ヶ所の選定理由は。

< 安全安心まちづくり課長 >

既に設置したJR駅5台が監視的に不足するため1台(増)設置。残り4台は公園内に設置する予定でまちづくり推進部が予算計上する。

< 福井委員 >

南つつじヶ丘用地が1億2,000万円以上で売れるのか。

地域公共交通調査委員会にタクシー業者を入れてはどうか。

自由通路実費収入に関連して、観光協会内の電子掲示板を使い商店街連盟が宣伝されている。駅のビジョンも使えば運営経費も出すと言われているので検討すればよい。

< 政策推進課長 >

予定価格は2か所で最低1億5,000万円である。

実施の際、検討する。

< 西口委員 >

千代川駅東側広場整備のH25年度用地買収予定の面積は、H25年度のみか。

< 政策推進課長 >

想定だが、約3,160㎡が必要と考えて計画している。H25年度のみである。

< 立花委員 >

南つつじ2ヶ所の面積は。公示価格は。

公共交通は議会でも特別委員会で調査しており、アンケート調査をともに考えることになっていたがどうか。

千代川駅東側広場は民有地か。

< 政策推進課長 >

幼稚園用地の大葉台2丁目は2,125.66㎡、保育所用地の桜台3丁目は2,151.67㎡。公示価格は資料提出する。

アンケート調査はまだ具体的でない。相談させていただく。

民有地である。

< 田中委員 >

防犯カメラは要綱で担当課長が情報管理することになっているが、重要なものなので条例で担保しておくべきではないのか。

< 安全安心まちづくり課長 >

個人情報保護審査会の意見も聞いている。いま条例化の考えはない。

< 田中委員 >

重要なことなので条例化をするべき、その必要性はないということか。

< 安全安心まちづくり課長 >

全く考えていないのではなく、必要性が高まったら考える。

< 田中委員 >

後先の問題ではない、個人情報はどう守るかである。意味が分からない。

< 政策推進室長 >

要綱を作る際に議論した。カメラ映像は裁判所、警察の依頼のみでしか開示しない。条例化すれば罰則規定がつくが、要綱でも公開禁止を規定している。

< 明田委員 >

セーフコミュニティの取り組みで、安全学会とは何か。

< 安全安心まちづくり課長 >

研究者は元警察などで、専門知識をもつ学会組織である。H24年度長野県小諸

市で開催された。

<西村委員>

カーボンマイナスプロジェクト事業の今後は。

<安全安心まちづくり課長>

炭は農政課が準備している、最終は行政の負担なしでできること。

<西村委員>

市民にはまだ認識されていない。もっとPRするべき。参加を増やすシステムも必要。研究だけで終わらないように。

<安全安心まちづくり課長>

クールベジタブル育成会を結成されている、参加されればと思う。

〔政策推進室 退室〕

14:20

〔会計管理室 入室〕

<会計管理室長>

全庁横断的な会計事務の適正化の推進

普通財産処分等による財源確保

公用車の安全運行と管理

を基本に予算を編成した。

〔会計管理室 説明〕

14:45

〔質疑〕

<福井委員>

公用車車検の入札について、契約検査課が執行しないからなのか最低価格を設けないのは何故か。

<会計課長>

予定価格が一定額以上のものに設定している。

<福井委員>

公用車管理で重要なのは公有財産の安全運行。日々使用している公用車の点検が安ければ安いのがよいとはどうかと思う。交通安全上の保守の瑕疵は市にある。よく考えてもらいたい。

<立花委員>

15年以上経過の公用車(33台)は燃費、車検代などの面で不経済である。更新の基本的な考えは。

法定外公共物管理では、民有地とのトラブルが多い。市に言っても関わってくれないと苦情を聞くがどうか。

説明書P31、土地売払収入について、市保有土地全ての面積、件数は。

<会計課長>

車両更新の決めはない、使用頻度も関連する。部品の取り換えが出来るのは10年で、それに見合うものと考えている。使用頻度によっては安全が確保できないこともない。法的な定期的維持管理との両面を考えて更新することになると思う。

隣接する土地が法定外公共物や市有地であったら相談も聞かせていただき現地確認もしていく。

いますぐには出せないが、希望あれば積極的に売却する。

< 井上委員 >

公用車に電気自動車はあるのか、アユモドキ号はどうなったのか。

< 会計課長 >

1 台。平成 24 年度で購入、アユモドキ号とした。

< 湊委員 >

職員等駐車場に関して考え方を改めるべき。本庁だけでなく学校含め出先機関の職員も一律に駐車料金を負担するべきでは。

< 会計課長 >

協議はしていない。

< 湊委員 >

市全体でルール化すればよい。検討するのか。

< 会計課長 >

まずは調査研究をしたい。

< 明田委員 >

公用車（115 台）が効率よく運行しているのか疑問。運行業務とは。担当課が管理ではないのか。

< 会計課長 >

配車含めた会計課運行と担当課運行の基本的には 2 通りがある。バスは教育委員会でスクールバス 3 台運行、市全体では 2 台のバスを運行。普通車、軽自動車の公用車は会計課で集中管理し貸出しているものと常時使う公用車は担当課で管理しているものがある。

< 明田委員 >

115 台は多すぎる。

< 会計課長 >

本庁以外も含めている。集中管理を会計課で行い効率化を図っている。

< 会計管理室長 >

突発的な対応のため必要な課もある。稼働率をみて共有車にする場合もある。

〔会計管理室 退室〕

15 : 08

【休憩】

15 : 20

〔企画管理部入室〕

< 企画管理部長 >

安全安心笑顔と絆の幸せ実感都市の実現を念頭に所管事業の推進を図る。第 4 次総合計画夢ビジョンの具体的施策の実現、市民との協働によるまちづくりの更なる推進のため職員の意識改革、行動改革、コンプライアンス、綱紀保持、服務規律の確保と職員倫理をしっかりと確立し、行財政改革プラン 2010 - 2014 の着実な実践を図り、組織力の向上を図る。

第 4 次総合計画前期基本計画の進行管理。行政評価の実施と公表。市民との情報共有と説明責任を果たし、次年度予算に反映。

シンボルプロジェクトの推進。市民、団体、事業者、行政で構成されたチームでの取組。

行財政改革の推進。行財政改革プラン 2010 - 2014 により効果的、効率的な行政運営を図る。

非核平和事業の展開。広く平和の尊さを発信し、平和施策を展開する。

広報広聴機能の充実。市民ニーズを検証し、より効果的な情報発信に努める。地域や市民の要望を聞き、意見交換する。

人材育成、能力開発。社会情勢等の変化に迅速に対応できるよう自学に取り組み、市民とともに事業推進できる職員育成、組織力の向上を図るため、計画的な研修を実施し、意識改革、行動改革を図る。特に職員倫理の確率を図る。

入札、契約事務の透明性、競争性、公正性の確保。公共工事の入札及び契約の適正化の促進に係る法律等に基づき随時見直しを図る。

H 2 4 臨時会で総務文教常任委員からの指摘要望事項については今後、建設工事の変更契約について法の原理原則を順守し関係課の連携を図っていくことを確認。議決を要するものは議会との緊密な連携に努める。

〔企画管理部 説明〕

16 : 12

〔質疑〕

<西村委員>

P 3、ヒロシマに学ぶ親子平和の旅についていいことだと思う。募集方法、応募者数、1人当たり経費、補助額は。応募しても行けない人はあるか。

<秘書広報課長>

京都府下でも他にない事業で一定評価をいただいている。教育委員会を通じて5月の校園長会で説明し募集している。7月下旬実施であるので6月いっぱいまで周知している。H 2 4は21組42名の参加。予算の関係もありバス1台でいける範囲。負担金は親子2人で2万円。内訳は親が12,000円、子どもが8,000円。補助率は約1/2。

<西村委員>

応募者数は。行けない人もあるのか。

<秘書広報課長>

去年はちょうど42名。多い時は抽選になる。その旨告知し募集している。

<西村委員>

予算の問題もあるが希望者には参加してもらえるようにしてほしい。要望。

<井上委員>

P 1、人事管理経費、職員研修の出席負担金とは何か。何名分か。

P 3、夢ビジョン進行管理に係る業務委託の内容は。

<人事課長>

市町村アカデミー、国際文化アカデミー等の研修に出席するために市から支出する負担金。研修により金額が違うので実績に基づき計上している。

<夢ビジョン推進課長>

総合計画の8章、約400の事業について関係課に照会。それらを点検し、職員と合わせて達成度等を精査していくことを業務委託するものである。

<吉田委員>

市長公用車運転手の報酬はいくらか。

資料編、シンボルプロジェクトの「住み心地向上」プロジェクトの小学校

- 4～6年生の放課後の居場所づくりとはH27の法改正までのつなぎであるのか。また、何をするのか。
- <人事課長>
非常勤嘱託で月額27万円。
- <夢ビジョン推進課長>
H25年度からモデル的に1カ所で開催していきたい。先進地視察経費、研修会講師への謝礼、利用者へのアンケート調査でニーズ把握等していきたい。
- <吉田委員>
他に時間外手当等を出していないのか。
いい取組みなのでやってほしい。
- <人事課長>
時間外等すべて含めての金額である。
- <立花委員>
P1、入札について、小規模登録事業は57社が登録とのことだが、これまでの実績は。総額ではどれほどか。
- <契約検査課長>
H24は今までで22件、延べ33業者を指名した。金額は229万4,465円。企画管理部では予算を持っていないので制度の趣旨を年5回程度、関係施設管理者等に文書で周知徹底し、報告をいただいている。
- <福井委員>
P3、シンボルプロジェクト推進経費、新資料館に係るアンケート調査及び討論型世論調査、放課後の居場所づくり、「かめおかなび」「城下町観光ルート」の検討のそれぞれ内容は。
- <夢ビジョン推進課長>
新資料館のアンケートは対象者1,000人の実施予定でその通信運搬費、内容の業務委託をする。合わせてアンケートに回答いただいた方々との討論会も考えており、その会場費も含めている。
4～6年の放課後の居場所づくりであるが真に需要がどれだけあるのか確認するためにアンケートを実施する。約1,000人規模。先進地視察経費や勉強会の講師料等も含んでいる。
かめナビの検討はスマートフォンに情報を入れてリアルタイムの情報を提供する。城下町の観光ルートがない中で本町カフェとも連携し、どういう観光ルートが望ましいかアンケートを実施。
- <福井委員>
観光戦略課でもスマホやるるぶ経費がある。双方であるのか。
- <夢ビジョン推進課長>
かめおかなびについては昨秋に先進地から来てもらい勉強会をし、観光戦略課も参加。相反することにならないようにしようということであった。今後はどう統合していくかが課題である。
- <湊委員>
P1、職員互助会補助金の根拠、中身は。
P1、入札について「入札参加資格審査、施工管理、完了検査等を厳格に実施し、工事品質の確保と業者育成に努める」とあるが、舗装工事について、

優先度の高い4～5業者が追加されたと聞いている。特異な業種なので特殊な機械がいるはずであるが保有していない業者が入っている。落札しても丸投げになるがそれでいいのか。見解は。

公共施設のデータベース化について、一般質問では難しいという答弁であったが市長も安全安心は最高の福祉であると言われている。万一の事故を考えると進める必要があると思うが見解は。市民理解を得る意味でも実施にはメリットがある。

<人事課長>

地方公務員法42条により事業補助を行っている。職員の互助救済、厚生に使っている。現在は職員本給の0.6%の補助を計上。特にパーセンテージは決まっていないが財政厳しい折、H21.5月から0.6%に改正している。実績額は0.5%ぐらい。H23は金額的には875万6,271円であった。

<契約検査課長>

建築工事には土木、建築、舗装ともろもろの業種があるが、登録時に希望順位を記入いただく。土木と建築は優先的に指名する。舗装、水道、造園等々あるが、従来舗装業種については希望1位の業者のみを指名し、希望2位は機械を保有していることを条件に指名する。ご存知の通り、舗装関係で業者が事件を起こして指名停止になり2社減り、4社ほどになった。4社だけでは競争性が下がる。市内業者を含めるのがいいか等検討した結果、舗装に関しては2位の第2希望の業者まで入れると約10社になる。ただ、機械を保有していない業者もある。実際に機械を持った業者は限られており、必要に応じてリースすることもある。舗装工事は特に機械保有を条件にしないで希望順位2位まで指名し、できるだけ市内業者で競争いただき受注いただきたいと考えている。ただし、建設業法により専任の技術者1名、現場代理人もいる。それは登録時にチェックしており、落札時、契約時にもチェックし、技術者のいない業者とは契約しない。実績のある業者と契約している。

<企画管理部長>

公共施設のデータベース化について、本市の公共施設はかなり老朽化しているものも多い。現実それぞれ所管部署で管理している。その改修等は内容に応じて予算査定時にあげてきて必要性、緊急性等々予算査定の中で検討、対応している。一元化は必要と認識しており、システムも開発されているのでそうすべきであるという考えは持っている。しかしながら、いつ建設され、いつどのような改修がされて、どういう状態であるかをしっかり押さえないとデータベース化は難しいという現実がある。まずはそこをしっかりと所管が認識し事務を進めていく必要がある。少し時間が必要かと思う。改修経費やどれだけ延命化が図れるか等をきちっと出していかなければデータベース化だけでは意味がない。それを進めるには財源が必要である。どういう形でどういう経費が要るか等プランを立てた上でデータベース化を進めていかなければ意味がないかと思うので今しばらく時間をいただき研究したい。

<湊委員>

互助会に関連してマイカークラブへの補助金は出ているのか。

<人事課長>

出していない。

< 湊委員 >

会計管理室の審査時に学校も含めてあらゆる公共施設に勤務する者の駐車場代について見直し、協力金等を徴収して平等化してはどうかということを提案した。検討いただきたい。

新会社をつくって入札に参加する者も出てくる。一定の方針を出してほしい。

公共施設のデータベース化について、露見することの問題もあるかと思うが、現状を見ていると市営住宅等耐震性のないものもある。わかっていながら提案をしているので前向きに検討いただきたい。何か起こったら行政が責任を問われる。的確なことはすぐにやるべきではないかと思う。

< 菱田委員長 >

職員の駐車場代については会計管理室に確認、調整願いたい。

< 契約検査課長 >

発注のあり方は一定のルールがある。発注数、登録状況等を考えながら執行している。舗装工事は第1希望で業者が確保できればそれでやっていく。検討していきたい。できるだけ地元業者にという方針は変わっていない。

< 企画管理部長 >

安全安心のまちづくりの視点でしっかり検討していきたい。

< 西口委員 >

電子入札は建設工事も物品のすべてで実施しているのか。実施率は。

< 契約検査課長 >

電子入札の実績は、H23は200件程度。昨年度の予算では1件当たり約26,000円の経費がかかっている。目標は全業者が対象だがDランク(小規模)は電子入札の環境が整っていないところがある。電子、紙との併用、紙だけのところもある。物品は現在紙入札のみである。

< 田中委員 >

来年度の退職職員数は何人で見積もっているのか。

P1、非常勤嘱託職員250名の通勤手当との説明であったが、職場ごとの嘱託数の一覧表を提出されたい。

< 菱田委員長 >

は資料提出を求める。

< 人事課長 >

H25は、一般会計分で22名を予定している。金額は5億1,386万円を計上。上下水道も含めると計25名。

〔企画管理部退室〕

16:50

< 菱田委員長 >

明日、10時から再開し生涯学習部分から審査する。

< 吉田委員 >

明日以降は簡潔に説明されるよう理事者に申し入れされたい。

< 菱田委員長 >

そのように申し入れる。本日はこれで閉議する。

16:51

